

令和２年度進行管理・評価シート
栃木市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和３年３月15日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1－1)	
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1－2)	
1 都市計画法との連携	2
2 景観計画との連携	3
3 屋外広告物について	4
4 栃木市歴史的町並み景観形成要綱について	5
5 重要伝統的建造物群保存地区との連携	6
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1－3)	
1 歴史的風致形成建造物修理・修景事業	7
2 嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業	8
3 伝統的建造物公開活用事業	9
4 嘉右衛門町伝建地区修理等事業	10
5 伝統的技術継承事業	11
6 嘉右衛門町伝建地区防災施設等整備事業	12
7 村檜神社修理整備事業	13
8 景観重要建造物保全事業	14
9 歴史的町並みに関する修景助成事業	15
10 景観形成重点地区指定に関する調査事業	16
11 祭礼・民俗芸能等の記録保存事業	17
12 指定無形の民俗文化財保存事業	18
13 山車等の保存・修理補助事業	19
14 渡良瀬遊水地環境保全事業	20
15 農業体験(農業ワーキングホリデー)事業	21
16 6次産業化推進事業	22
17 情報発信事業	23
18 文化財データベース整備・発信事業	24
19 文化財マップ作成事業	25
20 案内板等整備事業	26
21 歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業	27
22 ポケットパーク整備事業	28
23 駐車場整備事業	29
24 旧日光例幣使街道交通体系検討調査事業	30
25 歴史文化資産ネットワーク形成事業	31
26 公共サイン整備事業	32
27 歴史的観光資源高質化支援事業	33
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1－4)	
1 文化財の調査、指定、保存管理について	34
2 文化財の修理、周辺環境整備、防災に関する事業について	35
3 文化財に関する普及・啓発、防災訓練、団体支援について	36
⑤効果・影響等に関する報道(様式1－5)	
1 栃木市の歴史的風致に関する報道	37
⑥その他(効果等)(様式1－6)	
1 観光客入込数の推移	38

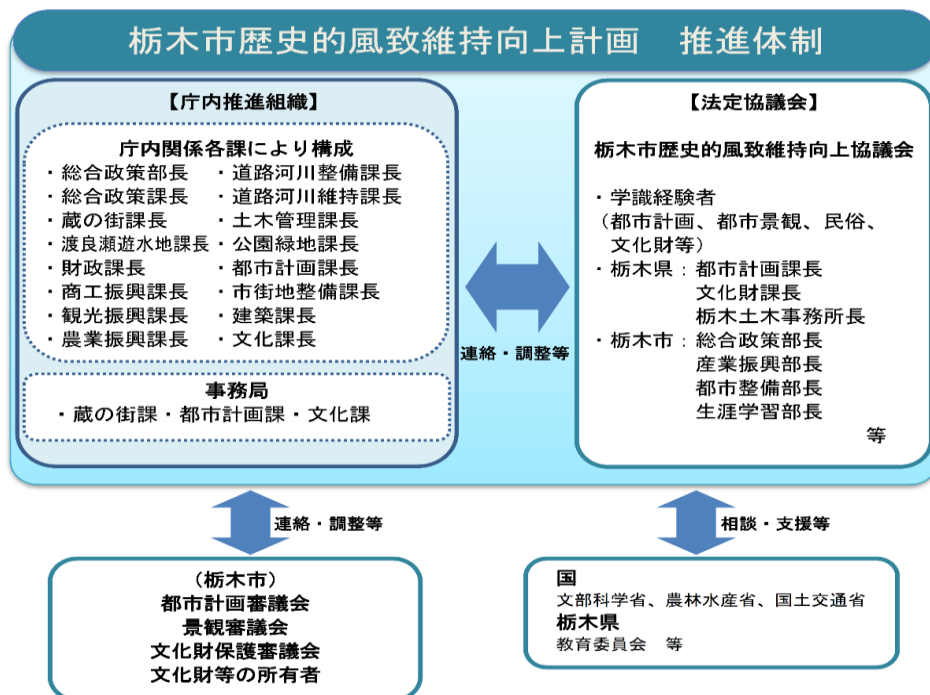
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	39
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
歴史的風致維持向上計画の実施体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	蔵の街課と都市計画課、文化課を事務局とした庁内推進組織を設置するとともに、「栃木市歴史的風致維持向上協議会」において、計画の推進や変更等の連絡・調整・協議等を行い、事業の推進を図る。 また、必要に応じて、都市計画や景観、文化財保護等に関する審議会、文化財や歴史的建造物の所有者等との連絡調整を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年4月に第5回栃木市歴史的風致維持向上協議会を予定していたが、コロナ禍の影響により、文書による意見照会を行った。また令和3年2月に栃木市歴史的風致維持向上計画の変更について協議会に意見照会を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



○協議会等の開催状況

- ① 栃木市歴史的風致維持向上協議会
 第5回協議会に代わる意見照会
 計画変更に係る意見照会

令和2年4月
 令和3年2月

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度
	現在の状況	
都市計画法との連携	☐ 実施済	
	☒ 実施中	
	☐ 未着手	

計画に記載している内容	栃木市は、市域全体が都市計画区域となっており、重点区域の2区域は、「旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域」が市街化区域、「村檜神社区域」が市街化調整区域である。 区域区分及び用途地域の適切な土地利用の規制誘導により周辺環境との調和に努め、特に価値が高いと判断された建造物群で、保存措置が必要な場合は伝統的建造物群保存地区制度の活用を検討する。 また、地区の特性に応じた、計画的でしめ細かいルールを定める制度を活用して、周辺に見られる歴史的風致との調和に努め、良好な市街地環境の形成を図る。 歴史的な町並みが残る栃木地域の中心市街地において、都市計画道路の検証・見直しを図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的な町並みが残る栃木地域の中心市街地における建造物群の今後の保存・活用の方法について、伝統的建造物群保存地区制度の活用や同制度活用に伴う課題(都市計画道路の見直し等)の有無等、庁内関係課との検討を行った。

また、3箇所の地区計画に、特性に応じた制限を定め、将来にわたって周辺環境と調和した快適で魅力ある歴史的景観の形成を図った。

届出実績 蔵の街大通り倭町一丁目東側商家群地区計画: 延べ4件(令和2年度実績無し)

栃木駅前地区計画: 延べ108件(令和2年度2件)

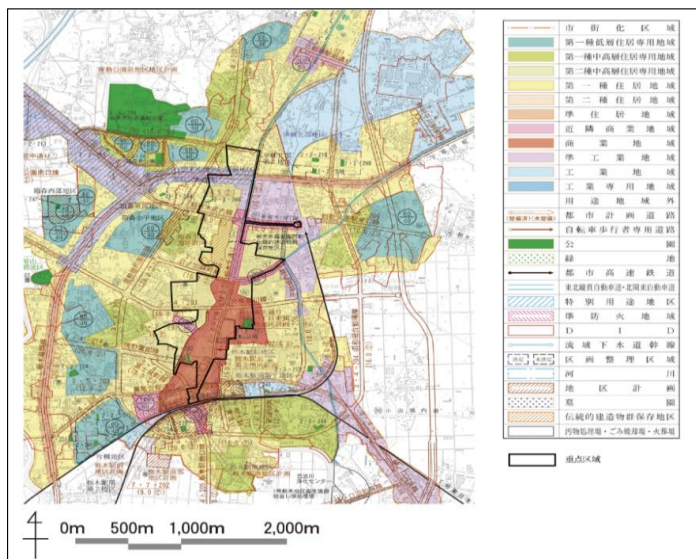
栃木駅前第2地区計画: 延べ31件(令和2年度実績無し)

進捗状況 ※計画年次との対応

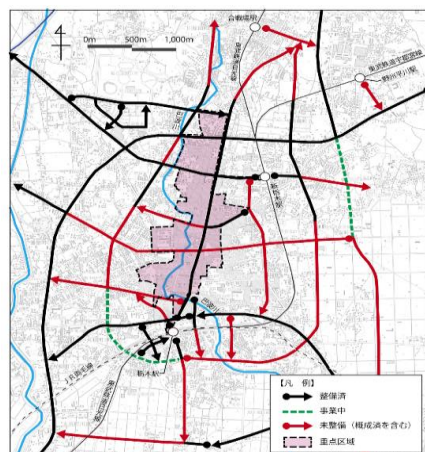
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ☒計画どおり進捗している
- ☐計画どおり進捗していない

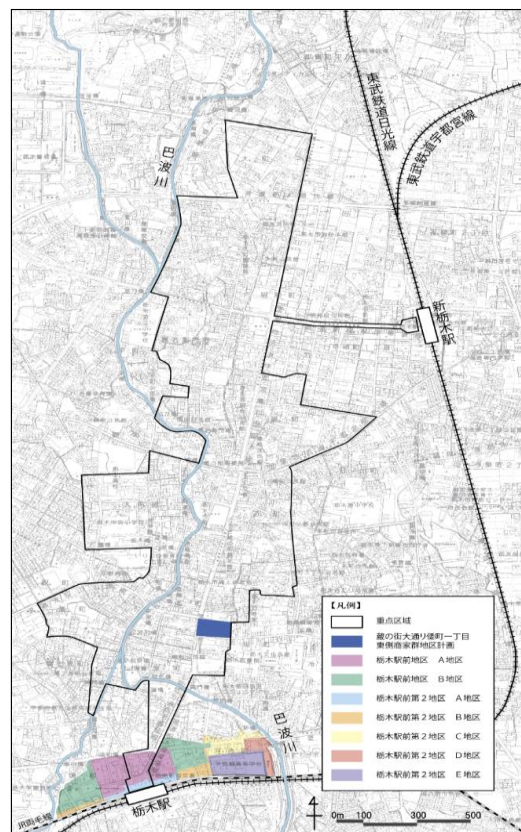
状況を示す写真や資料等



用途地域と重点区域



都市計画道路の整備状況



地区計画と重点区域

重点区域における良好な景観を形成する施策

計画に記載している内容

栃木市では、平成27年に景観法に基づく栃木市景観計画を策定、あわせて栃木市景観条例を制定し、総合的な景観形成を進めている。

市内各所に広がる歴史的風致について、事業展開に合わせて景観計画と連携する。

また、重点区域について景観形成重点地区として指定するための検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「栃木市景観計画」に基づき、一定の建築行為等に対し、良好な景観を守るために規制誘導を行った。
届出件数：令和2年度122件　うち、重点区域0件
　　　　　：令和元年度87件　うち、重点区域0件
本市の歴史的風致は、市内各所に点在していることから、景観計画の景観構造別の景観形成方針による誘導をさらに推進するため、庁内関係課と課題や取組等を共有した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
屋外広告物について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

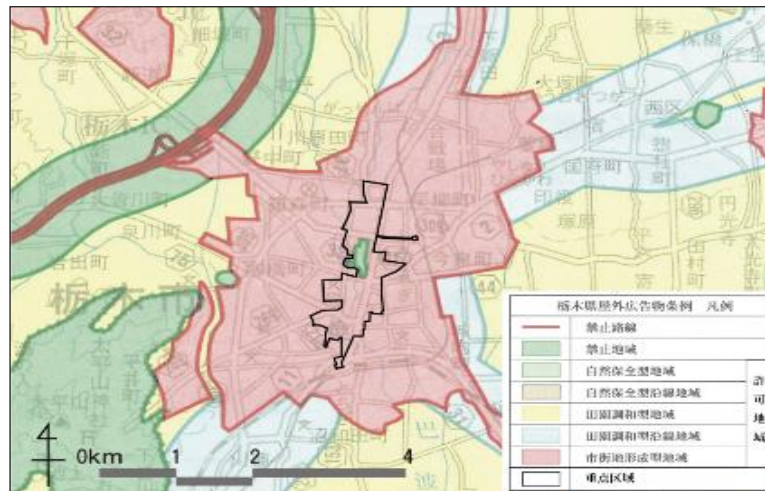
計画に記載している内容
 栃木市における屋外広告物は、栃木県屋外広告物条例により規制されている。
 重点区域は禁止地域と許可地域が混在し規制内容が異なっているため、良好な環境が阻害されることが懸念される。
 今後は、市独自の屋外広告物の設置規制や適正な維持管理を行う条例の制定を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「栃木県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物に対し規制誘導及び設置許可を行った。許可件数(市全域):令和2年度217件、令和元年度222件
 屋外広告物の規制誘導により、良好な景観形成が図られ、歴史的風致の維持向上に効果があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



屋外広告物規制図(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)



屋外広告物規制図(村檜神社区域)

評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度
		現在の状況
栃木市歴史的町並み景観形成要綱について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載
している内容

栃木市では、平成2年に、栃木市歴史的町並み景観形成要綱を制定して、歴史的建造物の外観やそれらに付随する工作物の修景整備を進めている。
 今後は、景観形成補助金制度の拡充を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

栃木市歴史的町並み景観形成地区内において建築行為等を行う場合、「栃木市歴史的町並み景観形成要綱」及び「栃木市町並み修景ガイドライン」により、届出を受け、良好な歴史的町並みを形成するため、基準に沿うよう指導した。(平成2年度から延べ387件の届出、令和2年度届出件数:新築11件、増築2件、修繕1件)

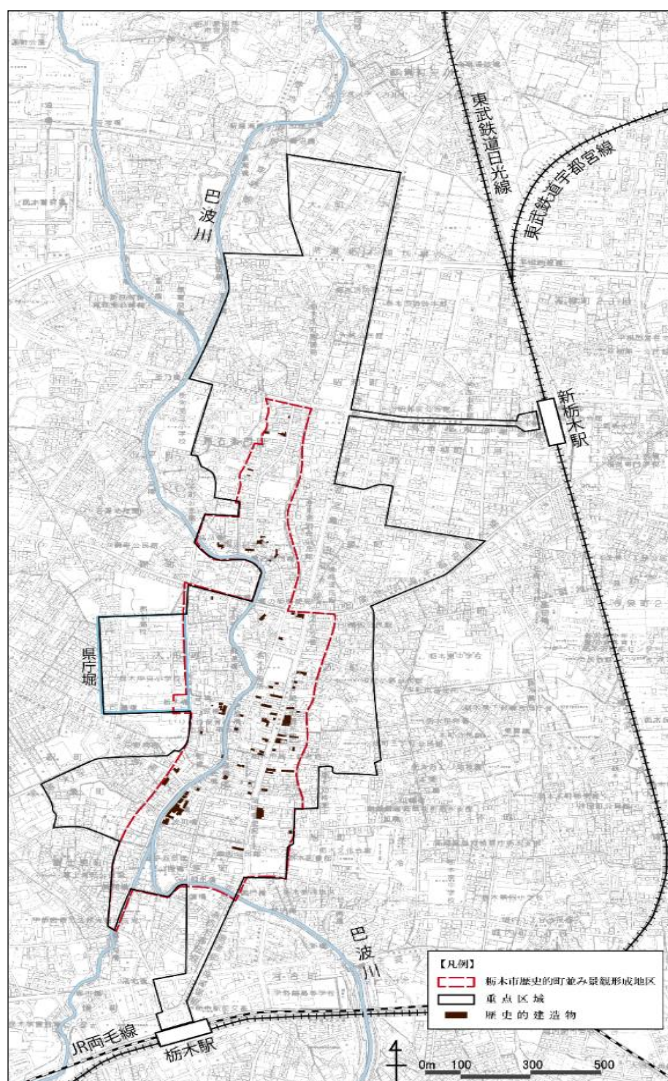
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

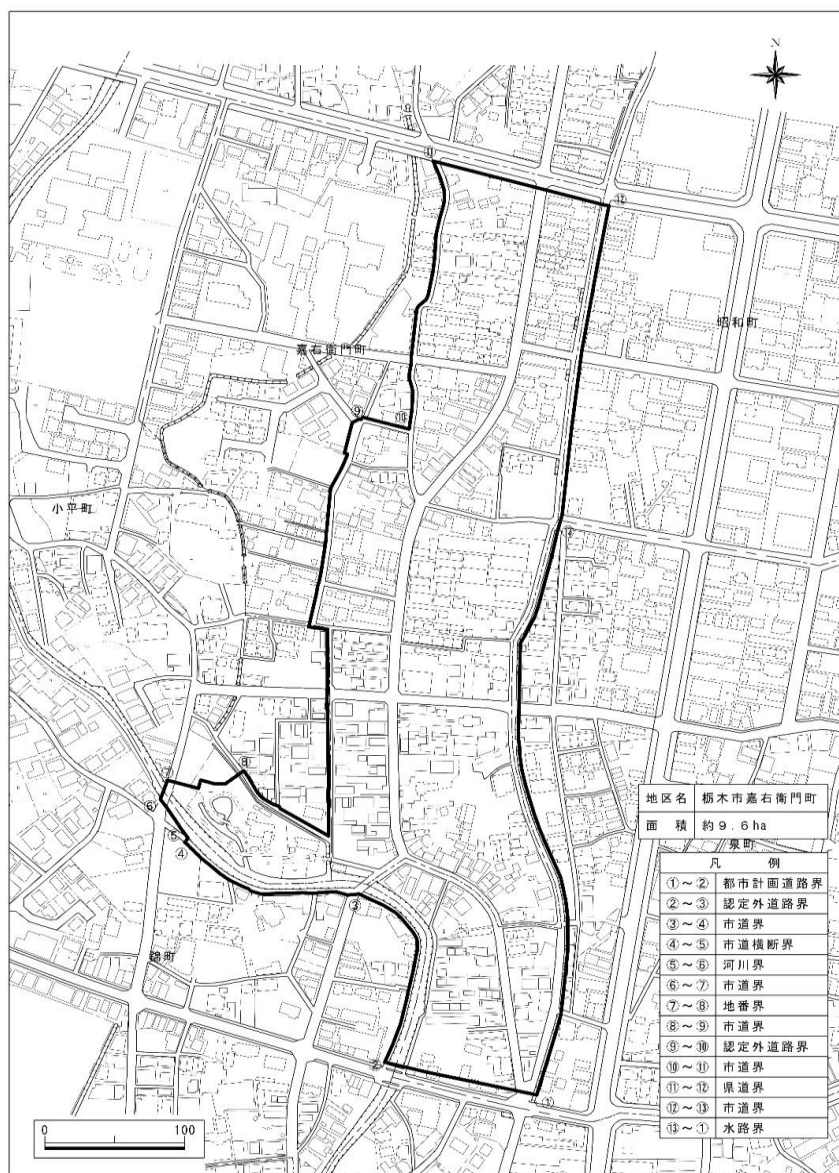
○栃木市歴史的町並み景観形成地区と歴史的建造物の位置



評価軸②-5

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和2年度
項目			現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区との連携			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区(嘉右衛門町伝建地区)は、保存計画に基づいた文化財としての伝統的建造物群の保存を進めながら、伝建地区周辺環境の保全・整備を一体的に行い、歴史的資源を活かしたまちづくりを推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝建地区内における現状変更行為等について、事前協議を行い、現状変更行為許可、及び修理修景への補助をすることで、嘉右衛門町伝建地区の歴史的風致の維持向上が図られた。 許可件数:令和2年度 10件 修理件数:令和2年度 7件 修景件数:令和2年度 1件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区 9.6㍒

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物修理・修景事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のため、その保全を図る必要が認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定する。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市所有の歴史的建造物3棟を歴史的風致形成建造物に指定した。 昨年度指定したものと合わせて8箇所17棟に歴史的風致形成建造物指定標識を設置した。 歴史的風致形成建造物補助金交付要綱を作成した(令和3年4月1日施行)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

歴史的風致形成建造物指定一覧

指定番号	名称	指定日	所在地	建築年代	規模構造	指定等区分
15	パーラートチギ 【関根家住宅店舗】	令和2年6月1日	栃木市倭町 301番地1	大正11年 (1922)	鉄筋コンクリート 造瓦葺2階建	登録有形 文化財
16	関根家住宅 主屋	令和2年6月1日	栃木市倭町 301番地1	大正11年 (1922)	木造瓦葺 2階建	登録有形 文化財
17	関根家住宅 文庫蔵	令和2年6月1日	栃木市倭町 301番地1	江戸末期	木造瓦葺 2階建	登録有形 文化財

歴史的風致形成建造物指定標識設置



横山郷土館



古久磯提灯店見世蔵



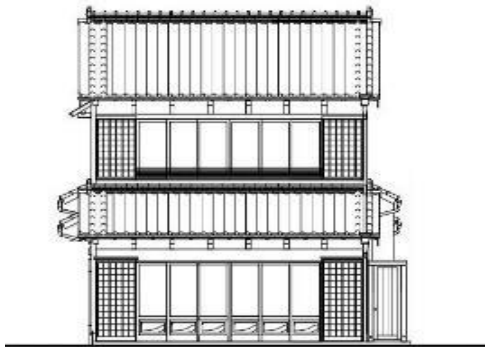
旧栃木町役場庁舎

横山郷土館麻蔵修理工事



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	文化財建造物等活用地域活性化事業補助金 市単独事業		
計画に記載している内容	味噌工場跡地の敷地内に数多く残る伝統的建造物の保存に努めるとともに、周辺の歴史的建造物と一体となった町並みの整備や人と文化の交流を目的とした活用を目指し、観光・まちづくり・防災の拠点施設として整備する。(伝統的建造物の修理・景観阻害建築物の撤去解体・煙突や窯の整備・中庭の整備等)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝建地区の拠点施設として整備するため、既存建物解体撤去工事を実施した。今後集会施設を整備予定。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○嘉右衛門町伝建地区拠点施設			
既存建物解体撤去工事  			
集会施設新築修景工事(立面図) 			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
伝統的建造物公開活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の歴史的な価値について理解を深めるため、当地区で最も古い(天保年間)見世蔵、土蔵群(伝統的建造物)及び土地の取得を目指し、活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
現在、市が借り上げていることから、伝建地区で活動している方々の交流会であるカエモンミライカイギを開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



カエモンミライカイギ
(令和3年2月24日)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
嘉右衛門町伝建地区修理等事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～令和10年度	
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業費補助金 市単独事業	
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区保存計画で特定されている伝統的建造物の修理及び伝統的建造物以外の建築物等の修景を実施する所有者に対し、修理・修景に係る経費の助成を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
伝統的建造物7件の修理工事、及び、1件の修景工事に対し助成を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	修理工事前に計画変更等が行われ、着手できない工事が発生した。補助事業にあたり、所有者の意向確認や、詳細な修理設計が必要である。	
状況を示す写真や資料等		
石川家主屋(建-嘉76)  ➡  修理中		
佐藤家土蔵(建-泉15)  ➡  修理中		
杉戸家(修景工事)  ➡  工事中		

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
伝統的技術継承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和10年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史的町並みの保全・活用に必要な歴史的建造物の伝統的技術の継承事業を促進する団体等の支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
伝統的技術の継承事業の促進のため、建造物の修理技術の研鑽と担い手育成及び歴史的伝統建築の修理や町並み保存に対する啓発活動を進めている「特定非営利活動法人とちぎ蔵の街職人塾」を歴史的風致維持向上支援法人に指定した。また、市所有の歴史的建造物の維持管理について意見交換会を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

歴史的風致維持向上支援法人指定通知交付式
令和2年7月15日



NPO法人とちぎ蔵の街職人塾の伝統的建造物修理に関する事業報告及び関係各課との意見交換会
令和3年3月19日

出席者

NPO法人とちぎ蔵の街職人塾

栃木市蔵の街課

- // 文化課
- // 都市計画課
- // 商工振興課
- // 観光振興課



栃木市伝統的建物修理事業報告会

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
嘉右衛門町伝建地区防災施設等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区防災計画に基づき、保存地区内に無線連動式住宅用火災警報器を設置し、火災を早期発見するシステムを導入する所有者に対し、設置に係る経費の助成を行う。また、火災に対し初期消火を行える環境を整えるため、保存地区内に住民でも使用可能な消化設備等を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
無線連動式住宅用火災警報器を設置にあたり、住宅用火災警報器を含めた防災システム「地域防災情報ネットワークシステム」等の検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	「地域防災情報ネットワークシステム」には当初想定していた予算より大幅の増額となるため、慎重な検討が必要となる。		
状況を示す写真や資料等			



令和元年度視察した青森県黒石市の地域防災情報ネットワークシステム

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
村檜神社修理整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要文化財村檜神社本殿等の建造物の修理や修景、また村檜神社境内の参道や記念物(動物・植物・地質鉱物)社叢の修景や整備を行うとともに、防火、防犯、防災設備や解説板等の設置を行うことにより周辺環境の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
現地の確認を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	整備費用が高額になることが予想されることから、所有者、管理者との話し合いを続け、整備にかかる支出への理解を求めていく。		
状況を示す写真や資料等			



神社の現地確認(村檜神社の避雷針より高い樹木)



駐車場の現地確認(誘導看板無し、未舗装敷砂利)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
景観重要建造物保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業		
計画に記載している内容	景観的に価値のある建造物を景観重要建造物として指定する。また、景観重要建造物に指定した建造物の保全に係る経費の一部について助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「栃木市景観重要建造物等保全補助金交付要綱」を活用し、景観重要建造物の保全に係る経費の一部について助成を行うことで、建造物の維持管理が適正に行われるとともに、その景観を保全し、資源として活用し、良好な景観が形成され、商家町栃木にみる歴史的風致の維持向上に寄与することができた。 (令和2年度実績無し、令和元年度実績・1件・塚田歴史伝説館旧荷蔵)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

景観重要建造物保全事業予定表

○塚田歴史伝説館

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
●			●		●		●		●

●＝保全事業実施予定



景観重要建造物である塚田歴史伝説館

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
歴史的町並みに関する修景助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成2年度～令和10年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史的町並み景観形成地区において、景観形成補助金制度を拡充し、歴史的建造物の外観の修景整備を行うとともに、町並みの連続性を阻害している建物等の外観について、歴史的町並みに調和するよう修景を促進する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
「栃木市歴史的町並み景観形成補助金交付要綱」を活用し、栃木らしい歴史的町並み景観を形成するため、歴史的建造物等の修景に対して、費用の一部を補助した。平成2年度から延べ127件補助(歴史的建造物102件、非歴史的建造物18件、重要工作物7件) 町並みの連続性を阻害している建物等の外観について、修景整備が進むよう景観形成補助制度の拡充を検討した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

〇「栃木市歴史的町並み景観形成補助金交付要綱」を活用した修景整備

・令和2年度 修景1件(歴史的建造物(小井沼商店土蔵)修理工事)

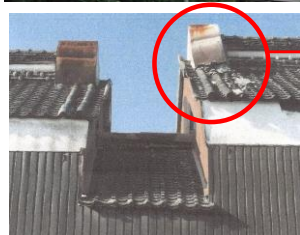


修景前



修景後

・令和元年度 修景1件(歴史的建造物(あだち好古館)屋根瓦及び樋保全工事)

樋及び受け金具
修理保全瓦破損部の
修理保全

修景前



修景後

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
景観形成重点地区指定に関する調査事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的町並み景観形成地区において、歴史的町並みの更なる充実を図り、景観まちづくりを推進するため、本地区を基本に栃木市景観条例に基づく景観形成重点地区の指定に向けた調査(景観の特徴等)を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成2年に指定した栃木市歴史的町並み景観形成地区と同区域を、栃木市景観計画に基づく栃木地域歴史的町並み景観形成重点地区として指定するため、これまで地元説明会等を行い、地元調整を進めてきたところである。 しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地区内の住民を集めての会議の開催に制限が生じており、指定に向けた取り組みを延期せざるをえない状況であることから、令和2年度の指定が困難と判断した。今後はまちなかの景気動向等も踏まえつつ、指定に向けた地区内の課題整理等を進めていく。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

栃木市景観審議会における、景観形成重点地区指定の進捗状況等の説明

日時:令和2年12月7日

場所:栃木市役所 庁議室



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
祭礼・民俗芸能等の記録保存事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の無形の民俗文化財に指定されている祭礼や民俗芸能等について、調査し記録を作成するとともに、作成した記録を保存する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
コロナ対策のため、人が集中する行事に事務局が行って取材、予備調査を行うことを自粛した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		国内の新型コロナウイルスの状況を見ながら、実施内容等について検討していく。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
指定無形の民俗文化財保存事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市指定無形の民俗文化財の保存や伝承活動の促進のために、保存団体等に対し、伝承活動に要する経費や保存に必要な専門用具、楽器、衣装等の修理又は新調に要する経費の助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市指定無形民俗文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、市指定無形の民俗文化財の伝承活動に要する経費の一部を支援した。(8団体)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	事業の継続に関する問題等を、各団体に聞き取り確認をしていく		

状況を示す写真や資料等

○栃木市指定無形民俗文化財伝承補助金

交付先

- ・大宮神社獅子舞保存会
- ・富田節保存会
- ・横堀神楽保存会
- ・新神田囃子保存会
- ・関白流獅子舞保存会
- ・升塚文挟小流獅子舞保存会
- ・依田流鷲宮太々神楽保存会
- ・大沢田太々神楽保存会



横堀神楽保存会



関白流獅子舞保存会



升塚文挟小流獅子舞保存会



依田流鷲宮太々神楽保存会



大沢田太々神楽保存会

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
山車等の保存・修理補助事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	栃木の山車祭りの山車等の保存や伝承活動の促進のために、保存会等に対し、保存会の運営に要する経費や山車の修理に係る経費の助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市山車保存会補助金交付要綱に基づき、保存会の運営に要する経費の一部を支援した。(1団体)			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○栃木市文化財山車保存会補助金 交付先 ・文化財山車保存会			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
渡良瀬遊水地環境保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	渡良瀬遊水地の環境保全として、渡良瀬遊水地の現状を把握するための生態系調査や希少植物保全のための外来植物除去活動、絶滅危惧種を復活させるための環境学習池の管理を行う。また、ヨシ原保全のためクリーン作戦やヨシ焼きを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年4月28日及び6月24日に絶滅危惧種ノジトラノオの生息地の保全作業・観察会を実施。6月11日及び11月5日に絶滅危惧種生息地(第1調節池内)の除草作業を委託して実施。6月20日に絶滅危惧種生息地で観察会を実施。9月19日に絶滅危惧種生息地で外来植物の除去作業及びお魚ふれあい体験会実施(参加者100人、セイカアワダチソウ約1.5t除草)。10月3日に湿地再生池(第2調節池)で外来植物等除去作業を実施(参加者100人、セイカアワダチソウ等約0.5t除草)。※クリーン作戦、ヨシ焼きは中止となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 絶滅危惧種生息地の観察会の様子 (令和2年6月20日)  ノジトラノオ生息地の観察会の様子 (令和2年6月24日)  外来植物等除去活動の様子 (令和2年9月19日)  お魚ふれあい体験の様子 (令和2年9月19日)  外来植物等除去活動の様子 (令和2年10月3日)			

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
農業体験(農業ワーキングホリデー)事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	ぶどうを一般消費者にアピールし、地域農業の振興に寄与するよう、ぶどう収穫等の体験学習を行う。また、ぶどう農家に農作業を手伝いたいなど、ぶどう栽培に関心があり勉強をしたい人を紹介して、ぶどう農家の人手不足を解消していくサービスを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大平ぶどう団地を一般消費者へアピールするため、例年実施しているぶどうまつりの開催、ぶどう狩りキャンペーン等は新型コロナウイルス感染症の影響により見合わせとなった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		農業体験については受け入れできる農家や組織の確保が課題である。また、現状では人手・後継者ともに足りている状態であり、新規就農希望者の土地や施設等の経営基盤整備にも課題があるため、今後の取組みについて地元農家の意見を伺いながら引き続き支援方法を検討していく。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
6次産業化推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	ぶどうを主力とする果樹生産の振興を図るとともに、大平ぶどう団地では、来訪者の志向や栽培動向に対応した、ワインやジュース、ジャム等の加工・販売・新商品開発等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
現在、ぶどうジュース、ジャム、ワイン等の加工品を各団地が中心に製造・販売を行っている。とちぎ小江戸ブランドの認証制度が終了したことや新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、特に大きなPR活動はできなかった。また、ワインを自ら製造することについて検討している地域の活動組織もあり、今後も県等の関係者と情報を共有しながら支援内容を検討していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新商品開発に関する相談が定期的に得られることが少ない点が課題であるが、相談を受けた際には、県が設置する栃木6次産業化サポートセンター等の関係組織と連携し、支援を行う。		
状況を示す写真や資料等			

○現在生産されている加工品の例



ぶどうジュース



手づくり巨峰ジャム

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度			
			現在の状況			
情報発信事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	令和元年度～令和10年度					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の歴史的な価値や、伝建地区や伝統的建造物等を楽しめる魅力や情報を発信するなど、様々な情報発信ツールを活用したPRを展開する。栃木市の認知度を高め、魅力を知ってもらうため、メディアや交通事業者、旅行業者等へ、時期にあった情報発信を行い、栃木市への誘客に努める。また、栃木市を訪れる外国人観光客の誘客推進を図るため、商談会や県主催の海外プロモーションイベントに参加し、積極的な誘客活動を展開する。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
前年作成した冊子「地と01」が、一般財団法人地域活性化センターが実施する「第2回地域プロモーション大賞 パンフレット部門」(第8回ふるさとパンフレット大賞)において、選考委員長である南伸坊氏が選んだ「南伸坊賞」を受賞した。また、「地と02」を作成した。 全市的な観光情報発信の強化を図るため、令和3年4月に本市の玄関口となる栃木駅北口に新たな観光拠点施設となる栃木市観光交流館「蔵なび」をオープンするため準備を進めている。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						



「南伸坊賞」を受賞した「地と01」



令和2年作成、「地と02」



栃木市観光交流館「蔵なび」

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財データベース整備・発信事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国県市指定の文化財の修理履歴や現状を総合的に把握するため、資料情報をデジタル化した管理データベースを構築する。データベースのうち、各々の文化財の歴史的価値や意義について、インターネット上で公開し、活用を行う。また、公開端末は主要な資料館に設置し、市全域の歴史や文化、歴史的風致のガイダンスを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
美術、文学クラウドシステムである栃木市文化芸術・文学館収蔵品管理システムを導入し、令和3年1月にスタートした。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		データベースに資料情報を登録する作業を進めるとともに、公開内容の検討を行う。	
状況を示す写真や資料等			

資料データベース管理画面

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財マップ作成事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和4年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国県市指定の文化財マップを作成し、主要施設に配付することで、市全域の歴史や文化、歴史的風致の情報発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	文化財の指定に向けて調査中のものがあり、現段階でマップを作成した場合、再作成する必要が生じてしまうため、事業期間について再検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
案内板等整備事業		■実施済 □実施中 □未着手	
事業期間	令和元年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の説明や、伝建地区及びその周辺地域の防災施設等の施設に関する適切で分かりやすい情報の提供を行う地図、また、災害時に情報伝達・共有をするための掲示板(でんけん伝言板)を設置する。また、伝建地区の南隅と北隅に位置サインを設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
嘉右衛門町伝建地区拠点施設前に、案内板(でんけん伝言板)を設置した。また、伝建地区の南隅と北隅の位置サインについては、既存の位置サインを活用することとした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○案内板(でんけん伝言板)



○伝建地区の南隅と北隅の位置サイン



位置サイン(南隅)



位置サイン(北隅)

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる解説ボランティアを育成するため、講習会や現地視察等の歴史文化資産に関する解説ボランティア養成講座を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
観光ボランティア協会において、随時班別研修会・全体研修会のほか、受入体制構築を図るため、市民を対象とした観光案内ツアーを2回行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	他部局、県、大学、民間事業者等との連携について体制、システムづくりを検討する。		
状況を示す写真や資料等			



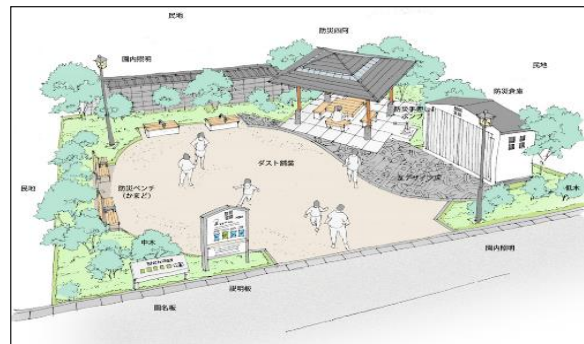
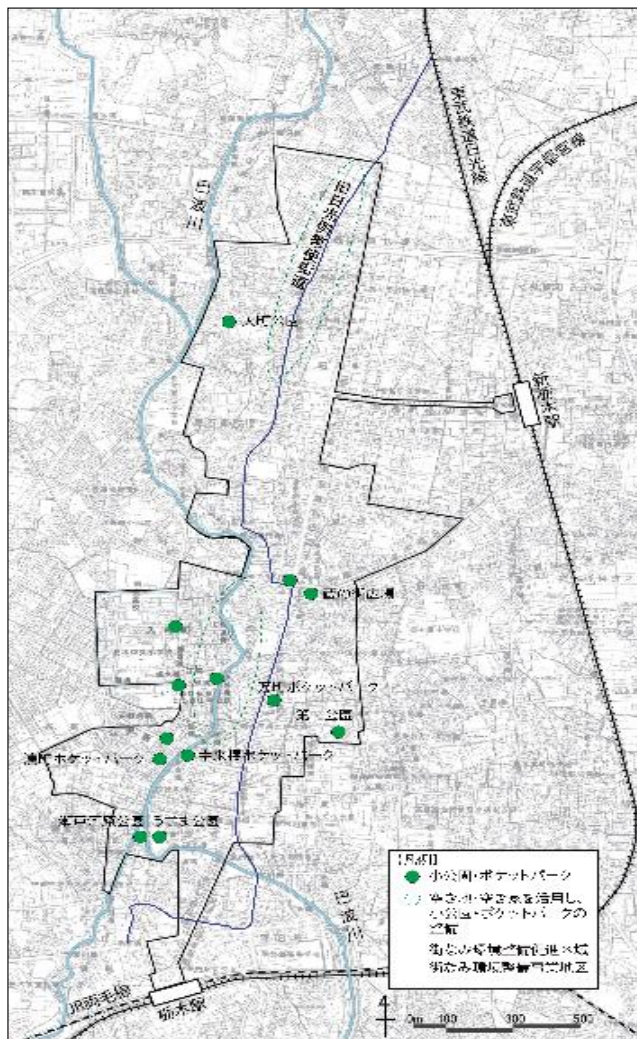
視察研修会の様子

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
ポケットパーク整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史的な町並み景観の阻害要素となっている空き家や空き地を活用し、地域住民・来訪者が憩えるポケットパーク(歴史的風致に関する説明板・防災倉庫・防災水槽・トイレ)を整備する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
空き家・空き地となっている整備候補箇所の確認を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	ポケットパーク整備に係る財政措置が課題である。	

状況を示す写真や資料等



整備イメージ図(鳥瞰)



整備イメージ図(平面)

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
駐車場整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)における嘉右衛門町伝建地区等へのアクセス環境を向上させるため、駐車場を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
嘉右衛門町伝建地区拠点施設に隣接した所に駐車場整備を予定しているが、災害等による大型事業見直しにより、事業計画を修正する必要があるが、暫定的に駐車できるスペースを確保することは可能である。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
旧日光例幣使街道交通体系検討調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	有識者と地元住民を交えて現状の交通課題と風致を考察し、より良い交通体系を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
嘉右衛門町伝建地区内での交通課題について、道路担当課と打合せを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



嘉右衛門町伝建地区内の道路の様子



嘉右衛門町伝建地区内の速度注意表示

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
歴史文化資産ネットワーク形成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載
している内容

市内各所の歴史文化資産について、地域に根差した物語づくりを行いながら、新たなモデルコースを設定するとともに、来訪者が複数の歴史文化資産を周遊できるよう広域的な自転車道路網を活用するため、レンタサイクルシステムの導入を検討する。各々の歴史文化資産への来訪者に、そこだけに留まらずに周遊してもらうため、着地情報(交通手段、施設情報等)の共有や、歴史文化資産間のネットワークを強化する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

観光資源データベースシステム(蔵ナビ！)を構築したことから、モデルルートの提案や利用者のオリジナルモデルルートの作成が可能となった。また、令和3年4月に開館を予定している栃木市観光交流館において、モデルルートの情報発信ができるよう準備を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

市単独事業としてのレンタサイクルシステムの導入には、コスト面での課題があるため、観光協会や民間レンタサイクル業者等との連携を図っていく。

状況を示す写真や資料等



栃木市観光資源データベース「蔵ナビ！」



栃木市観光資源データベース「蔵ナビ！」ルート作成画面

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
公共サイン整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内の文化財や史跡等に誘導するサイン等について、案内機能の向上を図るために、表記方法や意匠の統一化、多言語化など、平成27年(2015)に策定した栃木市公共サインガイドラインに基づき整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

皆川城址の案内看板および、星野遺跡記念館の案内看板を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応

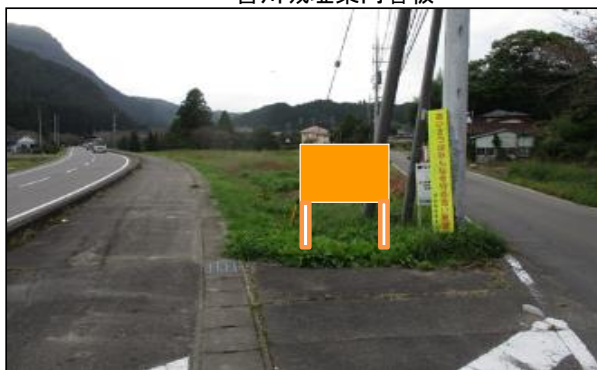
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



皆川城址案内看板



星野遺跡記念館案内看板(2か所)



評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度			
歴史的観光資源高質化支援事業			現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	令和元年度					
支援事業名	歴史的観光資源高質化支援事業					
計画に記載している内容	外国人観光客が増加傾向にある歴史的町並み景観形成地区において、歴史的な町並みの景観を阻害している建築物の外観を保全することにより、歴史的建造物を含めた町並みの質を向上させ、外国人観光客の満足度向上を図る。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
本支援事業を活用し、景観重要建造物保全事業(③-8)を実施した。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						
○塚田歴史伝説館旧荷蔵の保全工事(令和元年度実施) 【工事前】						
						
【完了後】						
						

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
文化財の調査、指定、保存管理について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	関係法令に基づく適切な保存管理を実施し、保存活用計画の策定や、関係機関と連携した調査・研究、市指定や国登録制度等の活用等により適切な保護を行う。 土木工事等の際の届出義務の徹底や関係機関と連携した保存・記録・調査を行う。 文化財の保存活用の視点から観光部局との連携強化体制の充実を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の調査を実施した。(建造物調査1回、天然記念物1回) 埋蔵文化財調査を実施した。(本調査2回、確認調査15回、立会調査34回)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	指定の根拠となる、現存する証拠の収集において、事務局と審議委員だけでは確認や閲覧が困難な場合があることから、引き続き研究機関との連携体制を整えていく必要がある。		

状況を示す写真や資料等

○文化財調査



建造物調査(令和2年10月23日)
市指定文化財(建造物)近龍寺北塀



天然記念物調査(令和2年6月22日)
市指定天然記念物さいかちの木

○埋蔵文化財調査



大橋2号古墳確認調査(令和2年11月20日)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
文化財の修理、周辺環境整備、防災に関する事業について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の価値を損なうことなく修理するため関係機関と調整し、各種補助制度を活用しながら、適切な保存のための対策を講じる。 展示施設等の見直しを行い、将来的に資料を一元管理できる施設整備を目指す。 関係法令に基づき周辺環境と調和した良好な景観の保全に努める。 防災対策の検討とともに、復旧作業に資する資料や関係機関との体制の整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市指定文化財(建造物)神明宮拝殿(旧神道中教院講堂)の修理が行われ、事業費の支援を実施した。 市指定文化財(建造物)大中寺山門の修理が行われ、事業費の支援を実施した。 また、市指定文化財(有形の民俗文化財)大町の山車(弁慶)の修理を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○市指定文化財(建造物)修理



神明宮拝殿【修理前】



神明宮拝殿【修理後】



大中寺山門【修理前】



大中寺山門【修理後】

○市指定文化財(有形の民俗文化財)大町の山車(弁慶)



大町の山車【修理前】



大町の山車【修理後】

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目	現在の状況	
文化財に関する普及・啓発、防災訓練、団体支援について	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財防火デーを活用した防災訓練等の取組みを促す。 説明板等の設置やパンフレットなどの作成・配布、講座やイベントを開催し、普及・啓発を図る。 総合的な調査研究を行うとともに、保存・活用する団体等の育成、団体間の連携強化を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
文化財防火デー(1月26日)にあわせて、有形文化財(建造物)の所有者または管理者に対して、通知とポスターを配布し、文化財の防災意識の啓発を行った。消防点検は新型コロナにより延期となっている。 とちぎ文化講座を開催し、文化財の歴史的価値と保存の重要性の普及・啓発を行った。(開催数5回 令和2年10月3日30人、令和2年10月8日28人、令和2年10月15日29人、令和2年10月22日29人、令和2年10月31日24人)		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
〇市指定文化財(建造物)の防災意識の啓発 ・所有者または管理者に通知とポスター配布 〇とちぎ文化講座 ・中世の城と魅力(令和2年10月3日) ・とちぎの城(令和2年10月8日) ・皆川広照と皆川城・栃木城(令和2年10月15日) ・西方綱吉と西方城(令和2年10月22日) ・西方城跡・現地調査説明会(令和2年10月31日)		

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和2年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
「PoPoPo」第1号発行 観光名所や飲食店紹介	令和2年4月9日	下野新聞	
横山郷土館が本格再開 2度の休館乗り越え	令和2年6月11日	下野新聞	
ヨシでともす寛容の心	令和2年7月5日	読売新聞	
ヨシ灯りで遊水地PR	令和2年7月7日	下野新聞	
「支援法人」に蔵の街職人塾	令和2年7月16日	下野新聞	
歴史的風致維持向上支援法人「蔵の街職人塾」を指定	令和2年7月18日	毎日新聞	
文化財修理、意気込む	令和2年7月23日	下野新聞	
歴史的建物守る職人技	令和2年7月26日	読売新聞	
栃木市パンフ審査員賞 地域プロモーション大賞	令和3年1月5日	読売新聞	
栃木駅北口の市観光交流館愛称は「蔵なび」	令和3年1月5日	下野新聞	
「遊水地産」品質ヨシ	令和3年1月23日	下野新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木の歴史的風致に関する内容が多数新聞報道された。これらの報道を通して、歴史的風致の維持向上に関する認識が高まることが期待される。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度

令和2年度

項目

観光客入込数の推移

計画に記載
している内容

歴史や伝統が広く市民に再認識され、郷土に対する誇りと愛着が生まれることにより、祭礼行事など、地域行事への積極的な参加につながり、地域の伝統文化が次世代へ大切に受け継がれていく。また、栃木市固有の魅力が向上することにより、観光振興等を目的とした交流人口の増加へとつながり、地域活性化が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市民協働によるおもてなしの推進や、観光資源の磨き上げなどにより、リピーターや新たな観光客の獲得に繋がっており、観光客入込数は全体的に横ばい傾向にあり、平成28年には初めて6,000千人を超え、平成30年にも6,000千人を超えたが、令和元年には水害のため、令和2年にはコロナ禍により減少が続いている。

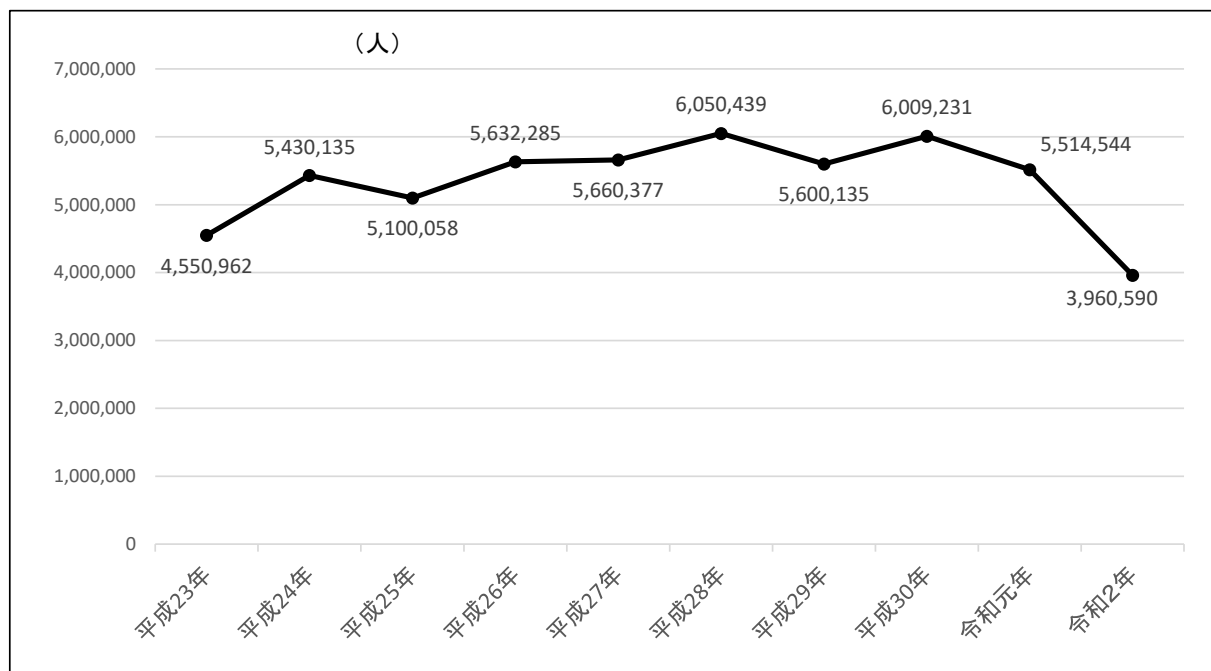
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



栃木市観光客入込数の推移

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:	
会議等の開催日時:	
(コメントの概要) ①組織体制 ・町並み委員会、伝建審議会との連携もあるのでは？ ②重点区域における良好な景観を形成する施策 ・文化財保存担当課だけでは保存・管理、活用まででは対応しきれない。観光客の見学・休憩場所の増やフィルムコミッションの活用などを見据えるならば、蔵の街職人塾の支援や旧家屋活用支援等も含んだ明確な担当部署が必要である。 ・「栃木市歴史的町並み景観形成要綱」及び「栃木市町並み修景ガイドライン」に基づく施策展開について、常に効果を確かめつつ推進する必要がある。 ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 【嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業】 長期のかつ多額の経費を要する事業であり、着実な進展を望む。伝建建物の修理整備においては歴史的建造物の価値の所在を確認しつつ、適切な事業推進をはかっていただきたい。 【嘉右衛門町伝建地区防災施設等整備事業】 木造家屋の多い伝建地区においては、火災報知機だけでなく消火施設等の配備も急ぐべき。 【村檜神社修理整備事業】・歴史的風致維持向上施設であることの市民認知度を高める取り組みの検討が必要と思われる。 【景観形成重点地区指定に関する調査事業】 指定想定地区内の建造物の保全の現状調査や所有者等への説明が重要。 【祭礼・民俗芸能等の記録保存事業】 祭礼・民俗芸能の継承が難しくなっている現在、積極的に記録保存が望まれる。 【山車等の保存・修理補助事業】 経費の支援にとどまらず、文化財として後世につたえるための手段を議論することも今後必要だと思われる。 【渡良瀬遊水地環境保全事業】 自然環境の保全だけでなく、歴史的文化的風致の価値の増進にも施策展開が必要ではないか。 【情報発信事業】 「地と」は情報と情感あふれる優れた地域誌である。このような冊子がこれからも発行されていくなれば栃木市の歴史的町並みに対する理解と共感広がっていくと思う。 【文化財マップ作成事業】 情報発信という意味でも指定の時期を明示した上で作成するのも一案ではないか。 【公共サイン整備事業】 既存の案内板の一部はまだ統一化が図られていないので、統一化等を検討していただきたい。 ④文化財の保存又は活用に関する事項 ・活用について観光部局とどのような連携ができるか検討頂きたい。 ・ ⑤効果・影響等に関する報道 ・新聞報道は、歴史的風致維持活動への市民の関心や理解が高まることから、機を捉えた情報発信に努める必要がある。 ⑥その他(効果等) ・コロナウィルスによる影響が著しく不透明な状況が続いた場合、観光客入込数に代わる指標も検討いただきたい。 ○全体に関すること ・嘉右衛門町地区では着実に成果が上がっているが、栃木町地区は保存・保全が進まず、価値が損なわれつつある。早急な対応が必要。 ・関連する部署、委員会、また各種制度、事業の整理活用手法等がより求められる。 ・歴史的風致の維持にとどまり、活用・向上に結び付いていない。観光客入込数だけでなく、市民が誇りを持ち集える場所となるよう、積極的に働きかけるべき。 (今後の対応方針) 令和3年度より歴史的風致形成建造物補助金交付要綱が施行されたため、民間所有の歴史的建造物を歴史的風致形成建造物に指定し、保存・保全を促進していく。関係各署との連携を深めるとともに、より積極的な制度・事業のPRを行い、歴史的風致の維持向上への意義を周知し、建造物所有者及び住民の意識向上を図る。	